

蛋白分画		333500		
		担当部署		
TP ブンカ		一般		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		特記事項なし		
検査受付時間		8:15~16:00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		該当なし		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10青	分離剤	8 mL
2	他材料	10青	分離剤	1 mL
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1) 採取容器違いの検体 2) バーコードラベルの貼られていない検体 3) 量不足 4) 粘性のある検体		
保管検体の保存期間		2℃から 8℃冷蔵保存 14 日 (追加検査については検査室に要問合せ)		
検査結果・報告				
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部		
測定時間		1~7 日		

生物学的基準範囲		Alb : 54.8%~65.4% α 1 : 2.3%~3.8% α 2 : 5.0%~8.9% β : 9.0%~14.6% γ : 13.2%~23.9% EX 一般 211 : 「クイックジェル SP 血清蛋白分画測定操作法」				
臨床判断値		該当なし				
基準値					単位	%
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		アルブミン、α 1、α 2、β、γ 分画に分類され、アルブミンと γ 分画以外の α 1、α 2、β 分画はそれぞれ多数の蛋白成分から構成されている。これらの蛋白成分の易動度は、膜の種類や泳動条件によってかなりの変動があるが、一定の条件で行えば、泳動パターンと分画比は各種の病態に特徴的な変化を示す場合があり、また特異な泳動像 (M タンパク) から重要な情報が得られるために、血清タンパク異常のスクリーニングとして不可欠な検査である。 EX 一般 212 「臨床検査法提要改訂第 31 版 : 481.1998」				